

## 令和5年度「わたしの提案」 受付実績、提案・回答

区分	受付件数
まちづくり・道路・防災・防犯	88件
公共施設	69件
福祉・医療・子育て	52件
教育・文化・環境	55件
商工業・観光	12件
行政一般・その他	61件
	337件

令和5年度は、337件の提案等をお寄せいただきました。

提案者に回答したもの128件のうち、所管部署が電話や面談で説明をしたものは75件、文書回答したものは53件で、「わたしの提案実施要綱」により、広く市民の皆様に周知すべきと判断したものを公表します。

- (1) 内容については、個人情報を除き編集した上で公表していますので、ご了承ください。
- (2) 回答については、提案当時の内容、課名となっています。

なお、名前や住所など回答に必要な情報の記載がなく、本人が回答の希望をしていない209件については、所管部署において検討のうえ、必要に応じて対応しています。

### まちづくり・道路・防災・防犯

スケートパークについて	3
市内に交通公園を作ってほしいについて	3
サッカーやフットサルができる場所を増やしてほしいについて	3
厚木中央公園付近へのカフェの誘致について	4
風俗店のエリア集中化のお願いについて	5
厚木市の将来に望むことについて	6
本厚木駅乗降促進施策について	7
本厚木駅北口再開発について	8
市役所本庁舎跡地の活用について	9
市役所から厚木高校前の坂道渋滞について	10
歩行者・自転車の安全確保について	10
洪水ハザードマップへの追加について	11

### 公共施設

ふれあいプラザのプールについて	12
市営プールの廃止とふれあいプラザへの集約化（反対）について	13
公共施設のトイレについて	13
児童館および老人憩の家にインターネットインフラの整備について	14
老人憩の家の名称変更について	14

老人憩の家への鏡設置のお願いについて	15
施設新設の提案について	16
図書館に新コーナーの創設について	16
図書館不足と中央図書館の老朽化・陳腐化について	17
文化会館の大規模改修工事と多目的トイレについて	18
公衆トイレに思うことについて	19

## 福祉・医療・子育て

地域高齢者の交流について	19
厚木市老人保養施設等利用助成事業（シルバーチケット）について	20
シルバーチケット高齢者タクシー助成について	21
パレスチナ自治区ガサ地区における平和の早期実現を求める決議について	22
AED搭載ごみ収集車の活用拡大について	22
24時間看護師常駐の高齢者施設を作ってほしいについて	23
帯状疱疹ワクチン助成について	23
児童クラブの待機について	24
就学児童へのランドセルについて	24
保育所の副食費について	25
加配を必要とする子どもの保育所等の利用調整基準について	25
丸い社会について	26
子育てから教育にも強い街へについて	28

## 教育・文化・環境

過大規模校への対応について	29
小型水力発電の開発について	30
農地開発を止めたいについて	31

## 商工業・観光

厚木市の経済活性化案について	32
半導体工場を誘致してほしいについて	33
厚木市の活性化について	33
秋冬期間でのコスプレイベントの提案について	34
あつぎ鮎まつりの開催時期について	34
厚木アクスト最上階の一般解放について	35

## 行政一般・その他

市の広報のあり方について	36
--------------	----

●まちづくり・道路・防災・防犯

標題	スケートパークについて
提案の趣旨	私は、スケボーが好きなのですが、近くにスケボーができる場所がありません。荻野運動公園などにスケートパークを作ってほしいです。
回答	<p>公園内のスケートボード場については、滑る時に発生する音や夜間利用による騒音対策が必要なことから、市内では「ぼうさいの丘公園」の1箇所となっています。</p> <p>スケートボード場を新たに設置するには、公園を利用する皆さんが安心安全に、そして快適に使えるよう、設置する設備や予想される問題点について、地元自治会などの意見も参考にしながら検討していく必要があります、いただいた御意見は参考とさせていただきます。</p> <p>今後については、「スポーツ・文化芸術・歴史の聖地」の実現に向けて取り組んでいきますので、これからも大好きなスケートボードを楽しんでください。</p>
担当課	公園緑地課、スポーツ推進課

標題	市内に交通公園を作ってほしいについて
提案の趣旨	自転車やゴーカートに乗りながら、交通ルール等を学べる交通公園を作ってほしいです。相模原市にある鹿沼公園のように、子どもたちが遊びながら交通マナー等を学べる公園の整備について、検討をお願いします。
回答	<p>交通公園については、一定規模の敷地面積や交通指導員の配置などが必要であり、検討段階から市民の皆様を始め、地元自治会や隣接住民の方々の御意見を考慮した中で検討する必要があります。</p> <p>現時点では、交通公園を整備する予定はありませんが、今後の公園施設を検討する上で、いただいた御意見は参考とさせていただきます。</p> <p>なお、市においては、子どもたちを交通事故から守るため、心身の発達段階に応じて、学校や保育所・幼稚園等において、基本的な交通ルールやマナーの習得を図るすき間のない交通安全教育に取り組んでいます。</p> <p>今後についても、厚木警察署を始め交通関係団体と連携しながら、子どもたちが交通ルールを学べるよう、効果的な交通安全教育を実施していきます。</p>
担当課	交通安全課、公園緑地課

標題	サッカーやフットサルができる場所を増やしてほしいについて
提案の趣旨	<p>私は、5歳の時から厚木市に住み、厚木を愛しています。厚木市には、はやぶさFCができたり、ここ数年でジュニアユース(中学生)のチームも増え、サッカー人口も多いと思いますが、サッカー専用の競技場がありません。</p> <p>前々からずっと思っていたのですが、荻野運動公園にしても及川球技場にしてもサ</p>

	<p>サッカー専用のグラウンドでないため、他競技団体と調整の上、活動しなくてはなりません。近隣市の公園には、人工芝と天然芝のコートが整備されています。</p> <p>厚木市にも人工芝と天然芝のコートを作ってほしいです。芝は足腰を痛めにくく子どもたちがサッカーを行う上でも、とても必要性が高いと思います。神奈川県を中心にあるため、県内の大会を開催するにもとても良い位置にあると思います。</p> <p>また、子ども達を始め気軽にサッカーができるように、フットサルコートも作ってほしいです。ぼうさいの丘公園には、フットサルとバスケット兼用の簡易コートがありますが、このような場所を市内にもっと設けてほしいです。サッカーに限らず、バスケットコートも少ないと思います。</p> <p>相模原市や寒川町などでは、スケートパークも積極的に設置しています。近隣の他市の公園では、たくさんの人たちが自由にバスケットやスケートボード、サッカーを楽しんでいます。誰も滑らない滑り台のある公園や利用されていない圏央道下のスペースなどより、もっと夢のある有効的なスペースを子どもたちのために作ってほしいです。スポーツを通して地域交流が活性化するような取組をお願いします。</p> <p>最後に、猿ヶ島グラウンドの管理体制も改善してほしいです。大きな石だらけで、雑草は利用者が刈らなくてはならない状況です。私の子どもは試合中に転倒して石にぶつかり頭から血が出て怪我をしました。是非、この機会に御検討ください。</p>
回答	<p>市のスポーツ施設については、厚木市公共施設最適化基本計画に基づき施設の適正配置について検討していますが、御意見をいただいたように、サッカー専用の競技場がなく、利用するには他競技団体と調整する必要があることは認識しており、利用のしやすさや安全な利用環境の充実を図ることは重要なことと考えています。</p> <p>今後、スポーツを行うためのより良い環境整備に向けて、他市の施設整備状況や、新たな施設整備に伴う基礎データ等を調査し、スポーツの聖地づくりを推進していく中で、御意見をいただいた人工芝サッカー場やフットサルコート、アーバンスポーツ施設等の整備についても、調査研究していきます。</p> <p>なお、猿ヶ島多目的グラウンドについては、地元自治会の管理となっていますが、より良い環境の施設を提供できるよう管理者と連携の強化を図っていきます。</p>
担当課	スポーツ推進課、下水道施設課

標題	厚木中央公園付近へのカフェの誘致について
提案の趣旨	<p>厚木中央公園付近にお茶ができる場所がなく、子どもを遊ばせに来た人たちが寄る場所がありません。パン屋などを誘致して、親子が気軽に軽食をとれるようにするのはいかがでしょうか。パン屋にイートインスペースが併設されていると、公園を訪れる人の利用も見込まれ、公園で過ごす時間も長くなると思います。</p>
回答	<p>御提案いただいた、厚木中央公園付近へのカフェの誘致については、現在は厚木中央公園付近に空き店舗がなく難しい状況ですが、キッチンカーなどを定期的に出店する方策を検討していくとともに、今後、空き店舗が生じた場合には、飲食サー</p>

	<p>ビス業など中心市街地活性化への貢献に資する店舗の出店を支援していきます。</p> <p>なお、市では、中心市街地の空き店舗を賃貸借して、新たにまちのにぎわいを生み出す店舗を営もうとする事業者に対し、改装費と家賃の一部を補助しており、令和5年度は新たに、出店に関わる費用に使える出店支援補助金を上乗せしています。</p> <p>また、厚木中央公園については、令和5年度から西側広場を中心に、環境の向上とにぎわいの創出に向けたリニューアル工事を予定しています。まちなかの貴重なオープンスペースとして、公園を利用する多くの皆様が今まで以上に心地よく過ごせるよう整備していきます。</p>
担当課	商業にぎわい課、公園緑地課

標題	風俗店のエリア集中化のお願いについて
提案の趣旨	<p>現在、保育園に子どもを通わせていますが、どの経路を通っても必ず風俗店がある通りを通らなければなりません。朝の時間帯でさえも子どもが酔っ払いに絡まれたことがあり、夫も帰宅時にいつも声を掛けられて迷惑しています。</p> <p>厚木はとても好きなのですが、駅近くのマンションだと、すぐ近くに風俗店のない場所がなく、子どもが理解するようになるころに改善していなければ、他市への引っ越しもしなければならぬか、と話しています。</p> <p>できれば、区画整理をして風俗店のある場所を集中していただくことで、お店を利用しない人はそこを避けられるようにしていただけたらうれしいです。</p>
回答	<p>市では現在、本厚木駅周辺地区のまちづくりの方針として「歩いて楽しいまち」を掲げ、厚木バスセンター東側の新市庁舎、図書館等の整備や本厚木駅北口地区の再開発に向けた取組を進めています。</p> <p>御提案いただいた風俗店のエリア集中化については、風俗店の更なる進出を招きかねないことから困難であると認識しています。</p> <p>なお、風俗営業の許可を必要とする営業所については、大学の施設が駅前にできたことにより新たな出店が制限されるとともに、今後進めていく本厚木駅北口の再開発に当たっても、都市計画の面から必要な規制を行っていきます。</p> <p>また、平成26年4月から厚木市客引き行為等防止条例を施行し、客引き行為等指導員に警察官経験者を採用し客引き防止対策に取り組んでいます。</p> <p>本厚木駅周辺のパトロールでは、キャバクラ等の風俗店をはじめ、風俗店以外の居酒屋やカラオケ店等の従業員についても、拒絶の意思を示している方に対し、執ように客引きすることなどを禁止行為として規定し、違反者に対して行政指導等を行っており、更なる強化を図っていきます。</p> <p>また、本厚木駅前周辺においては、犯罪の抑止に高い効果が期待できる防犯カメラを多数設置しています。</p> <p>今後についても、関係機関や地域の方などの御協力のもと、子どもたちにとって市街地での生活環境をより安心・安全なものとしていくための取組を進めていきます。</p>

担当課	セーフコミュニティくらし安全課、都市計画課
-----	-----------------------

標題	厚木市の将来に望むことについて
提案の趣旨	<p>厚木市は、都心方面のアクセスが小田急線のみで発展性がないにもかかわらず、本厚木駅の北口、南口開発のまちづくりから一步も脱していません。その限界は、この50年の歴史で証明されています。</p> <p>市中心部は、相模川から96.4mに位置し、経済的な後背地が少なく、将来性はありません。商店街は消滅し、専門店は激減しています。人口は減り、選挙の投票率も過去最低を記録したことは、厚木市の将来に期待していない証拠だと思います。</p> <p>これは、30年から50年、あるいは100年先の厚木市の将来を見据えたまちづくりが具体的に考えられていないためであると考えています。</p> <p>提案する内容は、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 駅移動によって、厚木中心街の拡大をする。</li> <li>2. 都心とのアクセスを増加する。これによる人口増の可能性は大きい。</li> <li>3. 確かな都市計画を基に企業に示し、企業誘致を積極的に推進する。</li> <li>4. そのためには、本厚木駅を西方向に商業施設と共に80m程移動して新駅を作る。これは厚木の将来発展の前提の前提条件であり、かつ、必要条件である。</li> <li>5. 厚木市が将来大きく発展するためには、30年から50年先を見据えた、思い切ったまちづくり計画を早急に検討し、立案、作成する。</li> <li>6. 新駅が完成した暁には、東西南北に延びる道路が完成、その先も、大きく発展する可能性を秘めたまちづくりで、市民の閉塞感が解消し、市民が厚木市の将来に希望を持つことができる。</li> </ol> <p>予想される効果としては、都心への通勤者と地元就職者の増加、人口の増加、厚木市全体の活性化と発展、市民の将来への期待が膨らむ、投票率の向上等が見込まれます。</p>
回答	<p>市はこれまで、先人たちの努力により、自然と調和する都市として発展してきました。現在では、全国トップクラスの子育て支援サービスをはじめ、県内有数の道路網の整備や企業が集積し、安定した財政基盤に支えられ自主・自立した行政運営を進めているところです。</p> <p>一方で、時代の変遷とともに大規模店舗等が郊外へ立地するなど、商業環境等も変わり、本厚木駅周辺のビルにおいては、老朽化が進んでいる建物もあります。本厚木駅北口と周辺地区においては、現在、複合施設整備事業、本厚木駅北口地区市街地再開発事業を始め、複数のハード事業を並行して進めています。</p> <p>市としては、商業・業務、行政、文化芸術など多様な都市機能を集積させるため、本厚木駅北口とその周辺地区を一体的な面として捉え、市民の誇りとなる玄関口への「生まれ変わり」を目指し、関係機関と連携し市民の皆様の要望の把握に努めながら、ハード事業からソフト事業まで幅広い視点から検討を進めているところです。</p> <p>今後についても、御提案にもありましたとおり、50年あるいは100年先の将来を見据えた視点をもって、本厚木駅北口とその周辺地区をデザイン性・機能性に優れ</p>

	た街並みに再整備し、市民の皆様の期待に応え、全国から憧れを抱かれるまちの実現に向けて取り組んでいきます。
担当課	市街地整備課

標題	本厚木駅乗降促進施策について
提案の趣旨	<p>コロナ前に1日当り15万人に達していた本厚木駅の乗降客数が、今では11万4千人となり、海老名駅（12万3千人）に追い抜かれてしまいました。</p> <p>海老名駅には相鉄線との乗換乗降分もありますが、昨今のららぽーとの開業、小田急電鉄（株）の本社の移転、献血ルームの移転など、目的地としての魅力の増大も著しいものがあります。このままの状況が続けば、本厚木駅のロマンスカー停車削減も危惧されるなど、住む街としての魅力の更なる低下を招きかねません。</p> <p>厚木市としては、本厚木駅北口再開発の大規模マンション建設や商業施設などで駅利用者を増やすのが正攻法だと思いますが、それに加えて、定期利用客の「途中下車」を促進する施策を行ってはどうでしょうか。</p> <p>一例としては、都心や相鉄線方面と本厚木以西の間を定期乗車している通勤客が、勤め帰りにいつもは通過する本厚木駅で途中下車して飲食するような需要を、定期券を提示すれば何らかのサービスを受けられるようなキャンペーンを行って喚起するような施策が考えられます。</p> <p>また、駅周辺の更地を活用して新規の大型商業施設が中心で、雑多な街の魅力には欠ける印象のある海老名に対しては、小規模で庶民的な店々にぎわう夜の本厚木の元々の魅力を最大限活用できると思います。</p> <p>例えば、愛甲石田駅と町田方面や相鉄線方面を定期通勤している勤務者だけでも、相当数の利用が見込めるだろうし、逆に伊勢原、秦野、小田原方面から都心方面や相鉄線方面への通勤利用者はその何十倍にも及ぶものと考えられます。</p> <p>市民のみを対象とした飲食店応援金券等だけではなく、市外からもお金を落とすべく施策で厚木市の経済振興を図っていただきたいです。</p>
回答	<p>市には事業所が約1万社あり、昼間の人口が多いことを表す昼夜間人口比率については、115.8（令和2年国勢調査では、県内の市で本市のみが100を超える。）と、企業活動等が活発に行われている状況です。</p> <p>市としては、市内外の方々が魅力ある市内店舗をお得に御利用いただけるよう、商店街が実施するプレミアム商品券販売事業への支援や年間を通じた多数のイベントの開催を通じて、飲食店など市内店舗の利用促進を図っています。</p> <p>御意見をいただいた、定期利用客の途中下車を促進する施策については、地元商店街等と連携しながら、通勤・通学の方々をターゲットとした施策を展開していきます。</p> <p>今後についても、中心市街地のにぎわい創出と商業振興につながる施策を展開するとともに、現在検討を進めている本厚木駅北口の再開発事業では、市民の誇りとなる玄関口への「生まれ変わり」を目指し、市民の皆様の期待に応え、全国から憧</p>

	れを抱かれるまちの実現に向けて取り組んでいきます。
担当課	商業にぎわい課、市街地整備課

標題	本厚木駅北口再開発について
提案の趣旨	<p>本厚木北口再開発では準備組合が立ち上げられ、数人の委員によって活動されているようですが、役所の職員や地権者だけで組織されているのであれば、是非民間の大手ディベロッパーを早期に参加させることを提案します。</p> <p>民間のディベロッパーには都市再開発の実績が豊富にあり、ノウハウがあります。準備ができた段階で、設計業者を入札すれば良いという意見もあるでしょうが、設計はできるだけ早い段階でいろいろな立場の人の知見を取り入れた方が、結果的に手戻りがなく理想に近い設計開発ができます。</p> <p>構想段階からディベロッパーや利害関係のない一般市民など第三者を参加させるべきです。大手ディベロッパーに参加してもらうには、入札制か各社に参加を呼び掛け、構想段階から自主参加してもらう2つの方法が考えられます。</p> <p>前者では、業者が1社か2社に決定するため、広く専門的な構想を得ることは難しいでしょう。一方後者では、構想段階から数社に参加してもらえれば、各社の特長が発揮され、理想に近い開発案が得られる可能性が大きくなります。そして、各社の構想が出揃ったところで設計コンテストを行い、1位になった企業を落札社とします。コンテストの審査員は準備組合ではなく、全く利害関係がない人達であることかつ、いろいろな方面の専門家が含まれることが望ましいと思います。</p> <p>構想が固まった段階で設計入札すると、落札したディベロッパーが独自のアイデアを提案しても、それを再考するのに手間と労力を要し廃案となる可能性が高く、開発に長けていない建設会社が落札すれば、ほぼ専門的な知見を持たずに決まった案どおりに開発が進んでしまう等のデメリットが想像できます。</p> <p>いずれにしても、早い段階で大手ディベロッパーの専門的な人材や資源を投入しないと、手戻りのコストは膨らみ、将来得られるであろう開発メリットも逸してしまいます。多額の費用で最大の効果を得るには、早期にデザインレビュー的考え方を導入して進める必要があると思います。</p>
回答	<p>市においては、本厚木駅周辺を居心地良く、歩いて楽しいまちへと転換し、市の中心地としてのにぎわいや魅力、更にはエリア価値の向上を図るため、目指すまちの姿などをまとめた「本厚木駅周辺歩いて楽しいまちづくり推進計画」を令和4年9月に策定しました。</p> <p>当該計画を踏まえ、本厚木駅北口の再開発事業や周辺地区での新庁舎を含む複合施設整備事業等を平行して取り組んでおり、この機を100年に一度の契機と捉え、本厚木駅北口とその周辺地区を一体的な面として、市民の誇りとなる玄関口への「生まれ変わり」を目指しています。</p> <p>現段階では、令和3年10月に設立された本厚木駅北口地区市街地再開発準備組合を始めとする関係機関との連携や市民の皆様の御要望の把握などに努めなが</p>



	<p>ら、ハード事業からソフト事業まで幅広い視点から検討を進めているところです。</p> <p>再開発事業においては、権利者の視点のみならず、行政や市民、事業者の各視点のバランスが取れて初めて成立する事業となりますので、御提案いただいた早期のディベロッパーの事業参画については、市としても必要不可欠であると考えています。これまでも、事業進捗に合わせてディベロッパー等（民間事業者）へのヒアリングを実施し、その結果を踏まえた事業計画の検討をしていますので、引き続き、ディベロッパーの選定や市民の方々の本事業への関わり方等について、様々な可能性や方法を検討していきます。</p> <p>今後についても、本厚木駅北口を生まれ変わらせるための最善の方法等を関係機関と協議し、本厚木駅北口とその周辺地区をデザイン性・機能性に優れた街並みに再整備し、市民の皆様の期待に応え、全国から憧れを抱かれるまちの実現に向けて取り組んでいきます。</p>
担当課	市街地整備課

標題	市役所本庁舎跡地の活用について
提案の趣旨	<p>厚木市の活性化を図るため、市役所跡地にインドアスポーツセンターを建設していただきたいです。立地条件も申し分なく、駅から近いことを始め、隣接地に厚木中央公園地下駐車場があること、近隣にホテルが3つ以上あることなどから、国内大会はもちろんのこと、国際大会も開催できる場所であると考えます。</p> <p>インドアスポーツの種目については、例えば、フットサルやバスケットボール、テニス、スケートボード、ボルダリングなどがあります。各地から人を呼べれば駅周辺の飲食店も活気付き、厚木市の繁栄につながるものと考えます。また、スポーツに使用しない時には、大道芸などの開催場所としても活用できます。</p> <p>スポーツを通じてまちを活性化してほしいです。</p>
回答	<p>庁舎移転後における現在の市役所本庁舎敷地については、中心市街地における数少ない一団の市有地であることから、文化芸術、スポーツ、にぎわい、防災といった本市の政策等を踏まえ、周辺エリア全体のにぎわいや価値の向上に資するよう、周辺施設等との一体的な活用方法などについて、公募市民や関係団体の皆様と検討を進めているところです。</p> <p>今後についても、御提案いただいた趣旨を踏まえながら、本市の更なる活性化を図るため、市民の皆様が目的を持って訪れることのできる施設や空間としての活用を検討していきます。</p>
担当課	行政経営課

標題	市役所から厚木高校前の坂道渋滞について
提案の趣旨	<p>厚木高校前から水引交差点を通り市役所にかけての道路は、いくつかの道路が合流するため、構造上交通量が多くなりがちです。そのため頻繁に渋滞が発生しており、移動にかなり時間が掛かっています。</p> <p>また、バスの到着時刻が読めないため、途中でバスを降りて歩く人も散見されます。</p> <p>人口の割にとっても不便であり、渋滞の待ち時間は経済損失になります。これを解消するために何か対策は取っているのでしょうか。対策をしている場合は、効果が出ていないので、再度、検討し直して渋滞を解消してください。</p>
回答	<p>厚木高校入口交差点から中央公園西側交差点までの区間については、国道 246 号に流入する車両や、海老名方面に向かう車両の集中により、路線バスの定時性や速達性が低下している状況を以前から認識しています。</p> <p>このことから市においては、国道 246 号水引交差点付近のバス路線の交通混雑緩和と本厚木駅へのアクセス向上を図るため、令和 5 年 1 月には、ソフト対策として県警察本部に御協力いただき、中央公園西側交差点の信号制御により青信号の時間を延長いたしました。その後、効果を検証したところ、厚木高校前から中町交差点までの区間において、夕方の交通量ピーク時の平均通過時間が 5 分短縮となりました。</p> <p>しかしながら、天候や時間帯によっては、混雑している状況が見受けられますので、引き続き、国県等と連携を図りながら広域的な視点で効果的な道路ネットワークをつくり、快適に通勤・通学が出来るよう取り組んでいきます。</p> <p>また、物流等の事業者や自動車通勤の多い事業所等に対する混雑発生地点の情報提供と迂回路の提案などのソフト対策を総合的に検討し、交通混雑緩和に努めていきます。</p>
担当課	都市計画課、道路整備課

標題	歩行者・自転車の安全確保について
提案の趣旨	<p>本厚木駅周辺に出掛ける際、車だけでなく自転車を使ったり、時には徒歩で行くこともありますが、厚木の道路は自転車が安心して乗れる幅がなく、歩道に上がらざるを得ないことが多いです。歩行者がいる狭い歩道は、大人にとっては違反を犯していることとなりますが、大半の自転車が行っています。さらには、右側を走る自転車も多いです。</p> <p>また、厚木中学校前の中央通りなど、歩道の広いところは歩行者・自転車の区別がないため従来の住み分けができておらず、スピードを出す自転車も多くて大変危険です。歩道内の色分けを行うなどの工夫をしていただきたいです。</p>
回答	<p>市においては、誰もが安心、安全かつ快適な移動が可能となる道路空間を確保するため、歩行者の利用が多い路線を中心に歩道の整備を実施しているほか、自</p>

	<p>転車の利用が多い駅周辺や学校施設周辺等の路線を優先に自転車の走行位置や進行方向を示す自転車走行空間の整備を計画的に進めています。</p> <p>御提案いただいた歩道内の歩行者と自転車の色分けについては、道路交通法上の規定や幅員等の課題があることから、現在は、車道への自転車走行空間の明示などを行っていますが、いただいた御意見も踏まえて、今後も人にやさしい道づくりに努めていきます。</p> <p>また、自転車走行のルールやマナーについては、小学生から高齢者まで年齢段階に応じて実施している自転車交通安全教室をはじめ、子育て世帯に向けた幼児2人同乗用自転車の乗り方講習会やあらゆる年代の自転車駐車場の利用者へ交通マナー啓発キャンペーンなどを行っているところです。</p> <p>今後についても、厚木警察署と連携を図りながら交通ルールの遵守や自転車マナーアップについて、市民の皆様を始め市内を訪れる方々に呼び掛けていきます。</p>
担当課	交通安全課、道路整備課

標題	洪水ハザードマップへの追加について
提案の趣旨	<p>厚木市では、河川ごとに洪水ハザードマップが作成され、市民に配布されています。ただ、大津波被災のとき平塚氾濫されてしまうのではないかと心配があります。県や国等に要請してシミュレーション調査を実施し、現在の洪水ハザードマップに追加していただきたいです。</p>
回答	<p>市内を流れる河川の上流においては、県が管理する城山ダムや国管理の宮ヶ瀬ダム等があり、令和元年台風第19号以降、様々な状況に対応できるよう、国や県において、洪水調節機能の強化を図るとともに、流域市町村と課題の検証を進め、ダムの情報伝達に係る新たな情報共有の仕組みを構築しました。</p> <p>また、令和5年3月に策定した「厚木市防災都市づくり計画」においては、複数の災害が連続して発災した場合にも、市民の安全や防災機能が確保できるよう方針を定め、取組を進めています。</p> <p>御提案いただいた豪雨災害と大地震が重なったことを想定したシミュレーション及びハザードマップの作成については、国や県と協議していきます。</p> <p>今後についても、災害から市民の皆様の命と暮らしを守るため、防災・減災対策に取り組んでいきます。</p>
担当課	危機管理課、都市計画課

●公共施設

<p>標題</p>	<p>ふれあいプラザのプールについて</p>
<p>提案の趣旨</p>	<p>金田のふれあいプラザのプールが閉鎖中に、海老名市や相模原市のプールを利用しました。施設職員の対応、利用のしやすさ、利用料（高齢者）について大きな差があり、残念ながら厚木市の施設には多いに改善点があります。</p> <p>関係者は、他市の施設見学（プール利用）に行ってほしいです。利用者の立場になって、より利用しやすいように施設管理をお願いします。</p> <p>相模原市・海老名市と厚木市との違い</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 休館日が月 1 回に対し、厚木市は荻野運動公園プール、金田プール共に週 1 回</li> <li>2. 高齢者利用料が 65 歳以上は大人の半額、厚木市はシルバーチケットで数枚の回数券のみ。</li> <li>3. プール監視の意識が高いが、厚木市は甘い。</li> </ol> <p>その他、</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 金田と荻野の施設同士で情報交換がされているか疑問。過去に、プール清掃が一週間に渡り同日で利用できなかった。</li> <li>2. 金田プールの利用等に関して、決定する前に第三者審議等行い、経緯を公表してほしい。</li> <li>3. ふれあいプラザ建設計画が遅れる報告が「広報あつぎ」4 月 1 日号の数行のみで、理由も知らされていない。</li> </ol> <p>検討のほど、よろしく願いいたします。</p>
<p>回答</p>	<p>ふれあいプラザの再整備に当たりましては、「市民の憩いやにぎわいを創る健康増進拠点」をコンセプトに掲げ、平成 30 年度にパブリックコメントを実施し、周辺にお住まいの方や利用者の皆様から御意見をいただきながら、基本的な方向性や導入する機能等の検討を行ってきました。</p> <p>リニューアル後のプールの維持管理等については、民間の経営や技術を活用して効率的かつ効果的に公共サービスを提供出来る PFI 手法を用いており、サービス内容についても事業者等からの柔軟な提案の採用に努めていきます。</p> <p>工期の延長については、昨今の社会経済情勢の影響による建設資材の納期遅延により、建設工事に係る作業工程を延長する必要が生じてしまったものですが、これまでの経緯をはじめ、工事の進捗状況が分かる写真を市ホームページ（掲載場所：ホーム＞組織から探す＞環境農政部 環境事業課＞施設案内＞ふれあいプラザ（余熱利用施設）＞厚木市ふれあいプラザ再整備事業）に随時掲載しています。</p> <p>リニューアルを心待ちにしてくださっている皆様に対しては、大変申し訳ございませんが、令和 5 年 12 月のオープンに向けて着実に整備を進めていきます。</p> <p>また、65 歳以上の高齢者へのプール利用料の助成については、シルバーチケットにて年 10 回まで全額を助成しています。助成の方法については、過去の利用実績やアンケート結果等も考慮しながら、今後も研究していきます。</p> <p>なお、市内にある公共施設のプールの監視員については、日本水泳連盟の公認指導員の資格を持つ者を含め配置しています。監視が甘いとの御指摘があったこ</p>

	<p>とは各指定管理者に伝えるとともに、改めて指導しました。</p> <p>今後についても、高齢者をはじめ多くの市民の皆様の憩いや健康増進拠点となるよう、環境の整備に努めていきます。</p>
担当課	地域包括ケア推進課、環境事業課、公園緑地課

標題	市営プールの廃止とふれあいプラザへの集約化（反対）について
提案の趣旨	<p>市の温水プールは、荻野と金田にしかなく、夏以外はプールを利用できません。というのも、荻野や金田には自宅から自転車で行くには遠く、車がない我が家には行けないほどの遠さだからです。</p> <p>今年の夏もプールはいつ開始か調べていたところ、市営プールが今年限りで廃止と知りました。そのような内容を市民に問うたでしょうか。どうして、厚木市北部にしか運動施設がないのでしょうか。我が家から駅までは1.6kmあり、そこからバスで行くのでは、まるでトライアスロンのようで子どもや高齢者は行けません。</p> <p>せめて、駅前か南部（せめて東町スポーツセンター）にプールを作っていただきたいです。車のない人にも優しい厚木になってほしいです。</p>
回答	<p>市の公共施設については、厚木市公共施設最適化基本計画に基づき、より効率的かつ効果的な維持管理・運営方法及び適正配置の検討をしており、御意見をいただいた市営水泳プールの廃止についても、令和3年12月の本計画策定時のパブリックコメントを経て、市民の皆様からの御意見をいただいた上で決定させていただきました。</p> <p>これまで多くの市民の皆様にご利用いただいた市営水泳プールの施設自体も築60年を経過し老朽化していることから、市民の皆様の安全な使用を考慮し、残念ではありますが廃止の決定に至ったものです。</p> <p>御提案いただいた、駅前や市南部にプールを整備することについては、現時点では予定していませんが、今後の施設整備における参考とさせていただき、市民の皆様にとって利用しやすい運営方法や整備について検討していきます。</p>
担当課	スポーツ推進課

標題	公共施設のトイレについて
提案の趣旨	<p>アミューあつぎのトイレの暖房便座のスイッチがONの状態でした。無駄な電気消費は税の無駄遣いです。また、公共施設のトイレの様式化も進めてほしいです。</p>
回答	<p>市においては、庁舎等における電力使用について、冷暖房の適切な温度設定、照明の消灯の徹底、職員のエレベーターの利用制限等、日頃から節電に努めているところです。暖房便座については、概ね7月から9月の間は電源を切る旨を施設管理者に対し周知しており、期間については、その年の気象状況に応じて施設</p>

	<p>管理者が適宜判断し対応しています。</p> <p>なお、御指摘いただいたアミューあつぎについては、令和5年度は6月の初旬から暖房便座の電源を切り、適切な節電対策に努めています。</p> <p>また、御提案いただいたトイレの洋式化については、市では、令和3年度に厚木市公共施設個別施設計画を策定し、公共施設の更新や改修など、個別施設ごとの具体的な対応方針を定めていますので、今後実施する施設の建て替えや改修と合わせ、適切に機能向上を行っていきます。</p> <p>今後についても、市民の皆様が快適に公共施設を御利用いただけるよう、施設運営に努めていきます。</p>
担当課	行政経営課、文化生涯学習課、環境政策課

標題	児童館および老人憩の家にインターネットインフラの整備について
提案の趣旨	<p>児童館および老人憩の家は多くの利用で賑わっておりますが、現在のところインターネットインフラが整備されていないと聞いております。</p> <p>更に多種多様な利用を促進するためにも、インフラの整備と小型プロジェクターの設置等をご検討いただきたいと思います。</p>
回答	<p>市においては、市民の皆様が容易にインターネットに接続できるよう、駅周辺、各公民館、ぼうさいの丘公園等の28のエリアに、公衆無線LAN「Atsugi Free Wi-Fi」のサービスを提供しています。</p> <p>御提案いただいた児童館においては、児童の健康増進や情操を豊かにすることを目的として設置しており、児童館にある遊具等で遊ぶことを原則としています。スマホやゲーム機器などの持参を認めていないことから、インターネット環境は必要とせず、小型プロジェクターについては、子どもたちのイベント等で必要な場合には、貸出しでの対応を行っています。</p> <p>また、老人憩の家においては、現時点ではインターネット環境がなく、利用者の方の必要に応じて、小型プロジェクターを用意していただいておりますが、施設でのWi-Fi等の必要性も認識していますので、利用状況等を踏まえながら、市民の皆様が多様に利用できるようインターネットインフラの整備に努めていきます。</p>
担当課	情報政策課、地域包括ケア推進課、青少年課

標題	老人憩の家の名称変更について
提案の趣旨	<p>市内42か所に「老人憩の家」が設置され、地域住民の活動拠点として活用されていますが、施設の利用規定には年齢制限はなく、名称が実態に伴わなくなっています。今や市民の4分の1が65歳以上で、65歳の就業率が5割にも及ぶ時代に、「老人」という言葉が陳腐化しています。同時に、「老人」という言葉に不快感を抱い</p>

	<p>ている高齢者は少なくありません。NHK の放送用語の中でも「老人」という言葉を使えるだけ使用しないよう制限しています。</p> <p>これからの厚木市を一層輝く街にするため、子育て世代を含め、全世代が気軽に利用しやすい施設名にし、地域活動の拠点にする必要があります。</p> <p>老人憩の家の名称変更について、検討してください。</p>
回答	<p>老人憩の家については、従来は 60 歳以上の方の利用を原則としていましたが、誰もが利用できる開かれた施設とするため、平成 20 年に条例を改正し、現在は地域住民の相互交流を促進するための地域に根差した施設となっています。</p> <p>施設名については、市民の皆様が慣れ親しんだ「老人憩の家」のほか、地域の方々の御要望によって「愛称」をつけて運営している場所もあり、柔軟な対応に努めています。御指摘いただいたように、時代の変化等に伴った見直しも必要であると認識していますので、地域の皆様の声を伺いながら検討していきます。</p> <p>今後についても、地域の身近な拠点として全世代の人が利用しやすい施設を目指し取り組んでいきます。</p>
担当課	地域包括ケア推進課

標題	老人憩の家への鏡設置のお願いについて
提案の趣旨	<p>私たちは、厚木南老人憩の家で活動を楽しんでいるチームですが、残念ながら鏡がありません。厚木南老人憩の家の開設以来、活動のたびにガラス製の重い鏡を物置から部屋に運んで使っています。当時は若く力もありましたが、皆、後期高齢者となり、年々近距離であっても負担です。私たちの他の団体でも、是非、鏡を利用したいという意見です。移動式の軽い鏡を設置してください。</p>
回答	<p>老人憩の家については、高齢者の教養の向上と心身の健康増進を図るほか、地域住民の相互交流を促進するための施設として、現在 42 館を設置しています。</p> <p>各団体等が活動する上で必要な物品については、各団体に御用意いただいております。厚木南老人憩の家をはじめ、物置等のスペースに余裕がある場合については、利用団体の物品を保管できるよう柔軟に対応をしているところです。</p> <p>また、施設の備品については、指定管理者の意見や老人憩の家全体の利用状況等を踏まえながら、全館統一的な設置に努めていますので、御要望いただいた鏡については、他の利用団体の声や使用状況を踏まえ、検討していきます。</p> <p>今後についても、地域の身近な利用しやすい施設を目指し取り組んでいきます。</p>
担当課	地域包括ケア推進課

標題	施設新設の提案について
提案の趣旨	<p>深夜にテレビを見ていると、健康器具の通販番組をよく目にします。つい購入してしまいそうになるのですが、本当に自分に合っているかどうか分かりません。</p> <p>そこで思うのですが、誰しも1つや2つ、部屋の隅に使わなくなった健康器具を持っていたりします。廃棄するにしても粗大ごみの廃棄はお金も手間も掛かります。</p> <p>そこで、市の方で未使用のスペース(会議室等)を解放していただき、眠っている器具を持ち込み、誰でも自由に使用出来る空間にしてはどうでしょうか。</p> <p>器具の簡単な修理管理を任せられる人がいれば、管理者として雇用も創出出来るのではないのでしょうか。ごみも減ることになりますし、カフェなどを併設すれば(更に店員は障がい者雇用を優先させるなども出来るかと思います)、地域のコミュニケーションの場にもなるのではないのでしょうか。</p>
回答	<p>市では、東町スポーツセンターと荻野運動公園に各種トレーニング機器を取りそろえたトレーニング室を設け、一部の公園においては、健康や体力の保持増進など健康運動を目的とした健康器具を設置し、多くの皆様に御利用いただいているところです。</p> <p>また、市民の皆様の憩いとにぎわいをつくる健康増進の拠点として、市内金田で再整備を進めていた「ふれあいプラザ」が令和5年12月1日にリニューアルオープンしました。同施設には、トレーニングルームを始め、地域の交流の場としても利用できるサウナや足湯、休憩室なども設けています。</p> <p>御提案いただいた、公共施設の会議室等の利用については、その用途や目的を妨げない限度において使用ができることとされており、現段階では健康器具を持ち込んで自由に利用できるようにすることは難しい状況ですが、地域ニーズを踏まえた上で、地域の課題解決に取り組む観点からも行政財産の有効活用について調査・研究していきます。</p> <p>今後も、御提案いただいた趣旨を踏まえながら、市民の皆様が快適に公共施設を御利用いただけるよう、施設運営に努めていきます。</p>
担当課	行政経営課、環境事業課、公園緑地課、スポーツ推進課

標題	図書館に新コーナーの創設について
提案の趣旨	<p>わたしの提案は、図書館にマイライブラリを作ることです。</p> <p>小さい頃から本をたくさん読んで本が好きになり、図書委員会で活動していました。電子図書館ができたことにより、いろいろな本が借りやすくなりました。</p> <p>そこで、マイライブラリというコーナーを作ってほしいと思いました。マイライブラリとは、図書館に自分が作った小説や絵本などを置いていろんな人に読んでもらえるコーナーです。</p> <p>それを作ることで自分が作った本を誰かに読んでもらいたいと思っている人がたくさんの人に読んでもらえる場所ができます。本が好きな子どもたちが増えたらいいなと思い、提案をします。</p>



回答	<p>図書館のマイライブラリーコーナーについては、有料で本棚を借りて貸し出す私設図書館などにおいて取組が広がっています。</p> <p>公共施設の図書館においては、様々な制約があり現段階ではそのようなコーナーを設置することは難しい状況ですが、中央図書館地下1階において、市にゆかりのある方が作成・出版された本を紹介しています。紹介できる本などに条件はありますが、紹介したい本がありましたら、是非、中央図書館まで御相談ください。</p> <p>なお、中央図書館2階では、本に興味を持ってもらうため、中高生世代を対象としたYA（ヤングアダルト）コーナーを設置し、皆さんが好きな本を紹介するPOP作品や人気のある本を配架しています。今後は、お気に入りの本を持ち寄りゲーム感覚で楽しみながら交流できる「ビブリオバトル（書評バトル）」やPOP作成のワークショップ等のイベントも開催を予定しています。</p> <p>御提案者様はこれまでたくさんの本を読まれ、学校で図書委員としても活動されました。本の魅力をいろいろな人たちにお伝えいただくとともに、その豊かな心を大切に、読書を通して充実した生活をお送りいただきたいと思います。</p> <p>今後についても、若い世代を始め市民の皆様が読書や図書館に関心を持っていただき、本を通じて新たな発見や交流が生まれるようなより良い図書館になるよう取り組んでいきます。</p>
担当課	中央図書館

標題	図書館不足と中央図書館の老朽化・陳腐化について
提案の趣旨	<p>厚木市へ転入して半年、図書館が地域に不足していると隣人の方から聞きました。実際、愛甲石田駅周辺に居を置くも、中央図書館まで足を運ぶ必要があります。その中央図書館も建物の外観も古く、中身も近代的であるとは言い難いです。</p> <p>十分な量の図書、座席数、設備、システムの刷新を通し、さらに、可能ならプラスアルファでコミュニティ形成の場所を提供し、厚木の文化交流の中心として機能することを提案します。</p>
回答	<p>市の図書館については、約69万冊の蔵書を有しており、中央図書館を始め、オンラインネットワークで結ぶ9つの公民館図書室(依知北、睦合北、睦合西、荻野、小鮎、玉川、南毛利、相川、森の里)を御利用いただけるほか、愛甲石田駅連絡所や5つの公民館事務室(依知南、睦合南、緑ヶ丘、愛甲、荻野公民館分館)では、インターネットなどで予約した本の受取と返却ができる予約資料搬送サービスを実施しています。</p> <p>また、市民の皆様の読書環境の推進を図るため、約1万冊の電子書籍をインターネットで24時間365日いつでも貸出や閲覧ができる電子図書館サービスの実施や、愛甲児童館、愛甲宮前公園など市内25カ所を巡回する移動図書館車「わかあゆ号」などを運行しています。なお、わかあゆ号の巡回日と場所については、広報あつぎや市ホームページに掲載しています。</p> <p>御指摘いただいた中央図書館については、昭和60年の開館以降、約40年近くが</p>

	<p>経過していることから、施設の狭あい化と老朽化により御不便をお掛けしていますが、利用者様の御要望等があった場合には、可能な範囲で座席数を増やすなど対応しているところです。</p> <p>今後においては、新図書館、(仮称)未来館、市役所等が入る複合施設の建設を予定しており、新図書館については「市民の学び、成長、楽しみに役立つ情報拠点」を基本理念として滞在型図書館となるよう実施設計を進めておりますので、頂いた御意見も参考にしながら、より良い図書館整備に努めていきます。</p>
担当課	中央図書館

標題	文化会館の大規模改修工事と多目的トイレについて
提案の趣旨	<p>厚木市文化会館は昨年夏より大規模改修工事であるが、改修工事の進捗を閲覧したついでに要求水準書も閲覧したところ、男女各一般トイレは温水洗浄便座の更新や和便器の温水洗浄便座付き洋便器への改修だが、多目的トイレは普通便座付きで全て既設のままにすると記載されていた。せっかくの大規模改修工事の機会でも、かつ、20年前の大規模改修工事の際にも多目的トイレだけ温水洗浄便座が設置されなかったにもかかわらず、今回の大規模改修工事においても多目的トイレに温水洗浄便座を設置しないということは明らかに良くない。今回の大規模改装工事でバリアフリーの強化と明記されていたのに落胆した。市を代表する施設なのに恥ずべき事例である。</p> <p>多目的トイレを必要とする障害者、高齢者、妊産婦や要介助者といった人ほど温水洗浄便座を必要とする傾向にあり、厚木市の場合、市立小中学校のトイレにも平成末期改修分から温水洗浄便座を設置するようになり、神奈川県内他市の文化会館・ホールでは茅ヶ崎市、大和市などにおいて大規模改修や建て替えて多目的トイレにも温水洗浄便座が設置されたため、厚木市においても再考し、文化会館の多目的トイレにもリニューアルオープンに向けて温水洗浄便座を設置してください。</p>
回答	<p>厚木市文化会館については、昭和53年11月の開館から40年以上、直近の大規模工事からも17年以上が経過しており、老朽化した各種設備等の改修工事を行っているところです。</p> <p>多目的トイレの温水洗浄便座の設置については、今回のリニューアル工事で対応します。</p> <p>今後においても、誰もが気軽に文化芸術に触れ、親しむことができる環境づくりに取り組んでいきます。</p>
担当課	文化生涯学習課

標題	公衆トイレに思うことについて
提案の趣旨	<p>学校トイレ洋式化の記事を目にしてお願い事項があります。</p> <p>本厚木駅バスセンター横に設置されている公衆トイレは和式であり、手すりもなく、利用させていただいたものの立ち上がるべく困難を極めました。高齢者の拙いお願いです。御一考頂けたら幸いです。</p>
回答	<p>洋式トイレについては、足腰に負担が少なく多くの方が利用しやすいことや近年の普及状況等から、需要が高まっていると認識しています。</p> <p>厚木バスセンターの公衆トイレについては、手すりを設置するなど、対応します。</p> <p>今後についても、利用者の皆様が快適に御利用いただける施設となるよう、環境整備に取り組んでいきます。</p>
担当課	生活環境課

### ●福祉・医療・子育て

標題	地域高齢者の交流について
提案の趣旨	<p>私の周りには、孤立した高齢者が多くいます。</p> <p>また、通院のみで社会福祉にもあまり関わりを持たない人が多いです。</p> <p>アミューあつぎや公民館、憩いの場が各所にあるのは存じておりますが、活動的でない高齢者は、個々のつながりが少ないと、ますます年老いていきます。</p> <p>そこで、同じような趣味、趣向の人を集めたジモティーやオープンチャットでつながりを持ち、グループLINE等につなげて、各々が一厚木市民として生活ができるのではないかと思います。</p> <p>10年前と比べると、近年では介護保険や老々介護等の多くの問題をテレビなどのメディアで取り上げられるようになってはいますが、これからは、社会的に関わりが持てない高齢者への政策の需要が増えていくのではないかと思います。</p> <p>信頼できる媒体を経由してつながりを持つことにより、学生時代のクラスのようなコミュニティがネットのできるようになってほしいですが、ネットに疎い高齢者には、難しい問題です。タブレット等の貸出しを行い、自分の端末を持つきっかけがあれば、社会との関わりも持てるのではないかと思います。</p>
回答	<p>市の人口構成においては、現在、4人に1人が65歳以上の高齢者となっており、2040年には3人に1人が高齢者となる見込みで、今後、高齢夫婦や高齢者の一人暮らしが増えていくことが想定されます。</p> <p>こうした中、市では、市内の温泉施設や映画館等を割引で利用できるシルバーチケットの交付をはじめ、今年度からは、高齢者バス割引乗車券（かなちゃん手形）の購入費助成や高齢者タクシー利用助成を拡充し、より一層の外出機会の拡大と仲間づくりや生きがいくりの機会拡大を図っているところです。</p> <p>また、新型コロナの感染症法上の位置づけが5類に移行したことで、地域におい</p>

	<p>では、高齢者の誰もが参加できるミニデイサービスや地域行事も再開されつつあり、介護予防の拠点となる通いの場もさらに増えていくものと認識しています。</p> <p>しかしながら、それでも社会的な関わりが持てない方や孤独を感じている高齢者がいられることも現実としてあります。</p> <p>国においては、携帯電話事業者と連携し、孤独・孤立支援につながるウェブサイトの情報を今後プッシュ型で展開していくことから、その動向を踏まえながら、市でも、孤独・孤立に関する各種支援制度や相談先の情報発信の取組のほか、デジタル技術を活用したつながりや見守りなど、時代に即した方法について検討していきます。</p> <p>今後についても、高齢者が孤立する状況を減らし、必要な行政の支援につなげていけるよう、地域の皆様とも連携をしながら、より一層の高齢者福祉の充実に向けて取り組んでいきます。</p>
担当課	福祉総務課、地域包括ケア推進課

標題	厚木市老人保養施設等利用助成事業（シルバーチケット）について
提案の趣旨	<p>72歳の夫が今年完全にリタイアしたため、今まで一度も使用できなかったシルバーチケットを使おうとしました。市ホームページを確認して、「公共施設のトレーニング室及びプール」の補助の記載がありましたので、東町のスポーツセンターに伺いましたら使用できず、帰宅後に市に電話で問い合わせたところ、荻野運動公園しか使用出来ないことが分かりました。荻野運動公園でしか使用できないのでしたら曖昧な表記でなく、その旨を記載していただきたいと思います。</p> <p>また、本厚木駅の近くに住んでおり、荻野運動公園まで公共交通機関（バス）では往復820円掛かり、トレーニング室の料金を無料にしても結局は足が遠のきます。</p> <p>夫は車を運転して行きたがりますが、近年の高齢者の自動車事故増加を考えると、今後はさらに加齢していくので、疲れた帰り道が心配です。</p> <p>12月にリニューアルオープン予定の厚木ふれあいプラザのトレーニング室とプールに関しても、問い合わせると現在はシルバーチケットの利用は考えていないとのことでしたが、是非、使用できるようにしていただきたいと思います。</p> <p>高齢者と家族が安全に安心して、健康の保持増進や生きがいづくり、仲間づくりに継続して取り組めるようご配慮をお願いいたします。</p>
回答	<p>市では、高齢者の外出支援と健康長寿を支えるため、シルバーチケットやかなちゃん手形の購入費助成等を実施しています。</p> <p>御意見をいただいたとおり、現段階では、トレーニング室とプールに関して、シルバーチケットを利用できる施設は荻野運動公園の1施設となりますが、厚木市ふれあいプラザについては、12月のリニューアルオープンに合わせて助成券を使用できるよう準備をしており、東町スポーツセンターについても、令和6年度当初からの導入に向けた調整を指定管理者と進めているところです。</p> <p>また、70歳以上の高齢者の外出支援として、1乗車100円で乗車できる「かなち</p>

	<p>やん手形」の半年券の購入に当たっては、12月から助成額を1,500円拡大しますので、自己負担額2,000円で購入可能となります。</p> <p>なお、市ホームページにおいて、シルバーチケットの御案内が分かりにくいとの御指摘については、表記を改善しました。対象施設や助成内容について随時更新していくとともに、広報紙等でも周知を図っていきますので、是非、御活用いただきますようお願いいたします。</p> <p>今後についても、高齢者の皆様が健康の保持増進や生きがいがいづくりに安心して継続して取り組めるよう、高齢者福祉サービスの充実に努めていきます。</p>
担当課	地域包括ケア推進課

標題	シルバーチケット高齢者タクシー助成について
提案の趣旨	<p>夫が昨年2月に脳出血で左半身麻痺となり、要介護5の認定を受けましたが、リハビリの成果もあり、要介護3になりました。それでも車イスに移乗するにも私の介護は必要で、病院に行くには車イスのまま乗れる介護タクシーを頼むしかありません。でも、シルバーチケットの助成は受けられず、かかりつけクリニックでの受診もためらってしまいます。</p> <p>介護タクシーしか利用できない要介護3の人でも、タクシー助成を受けられるよう、高齢者タクシー助成の対象要件を見直していただけたらと思います。</p> <p>見直していただければ、クリニックでの受診ができます。生活の中で遊びに行くことはあきらめています。せめて、介護タクシーの費用を軽減できれば具合が良くない時にためらわずに病院へ行けます。</p>
回答	<p>市においては、生活支援や外出のきっかけづくり、社会参加の促進等を目的に、高齢者等がタクシーを利用する場合の費用の一部を助成しています。</p> <p>これまで、85歳以上の方と要介護4・5の方を対象としていましたが、昨年の12月からは、70歳から84歳で自動車運転免許を持っていない方も新たに対象とするとともに、1枚400円のチケット枚数を年間12枚から48枚に拡大するなど、様々な場面で御利用いただけるよう適宜見直しを行っています。</p> <p>今後についても、いただいた御提案内容を始め、サービスを必要とする多くの方々に御利用いただけるよう、制度の拡充を図っていきます。</p>
担当課	地域包括ケア推進課

標題	パレスチナ自治区ガサ地区における平和の早期実現を求める決議の発信取組での平和実現について
提案の趣旨	厚木市議会で決議された「パレスチナ自治区ガサ地区における平和の早期実現を求める決議」は大変素晴らしいです。これは、世界に誇れる内容の決議です。この決議をお手本に、全国の自治体がパレスチナの平和の早期実現を求めていかなければなりません。市長様と市議会様の連名で広く全国に発信し、パレスチナ平和実現を目指してほしいと思います。
回答	<p>市議会では、第7回会議（12月定例会議）において、議会の意思を議員提出議案という形で「パレスチナ自治区ガサ地区における平和の早期実現を求める決議」を表しましたことから、決議の内容をあつぎ市議会日より（2024年2月1日発行）や市ホームページなどで周知しているところです。</p> <p>市においては、平成5年4月に「国際平和と核兵器廃絶を求める都市」の宣言を始め、平成22年からは核兵器の廃絶と世界の恒久平和を目指す「平和首長会議」に加盟し、パレスチナを始めとする世界平和の実現を訴えているところです。</p> <p>今後についても、平和な社会の実現は全市民の願いでもあることから、世界の恒久平和を目指し、引き続き平和意識の普及や啓発に積極的に取り組んでいきます。</p>
担当課	福祉総務課、議会総務課

標題	AED 搭載ごみ収集車の活用拡大について
提案の趣旨	<p>海老名市では、ごみ収集車に AED を搭載して収集していると知りました。収集員 44 人中 33 人が救急講習を修了し、迅速な救命が可能とのことでした。</p> <p>ごみ収集中、メロディを流しているので「緊急時に聞こえたら呼び止めて！」はすばらしい活動です。厚木市でも是非取り入れてほしいです。</p>
回答	<p>市においては、現在、市立小・中学校や公民館を始めとする各公共施設、コンビニエンスストアなどの事業所、県施設、警察関係等の約 400 か所に AED を設置し、心肺停止傷病者の救命率の向上に取り組んでいます。</p> <p>海老名市がごみ収集車に自動体外式除細動器 (AED) を搭載したこと等については、市でも承知をしているところです。ごみ収集時のメロディ放送については、市においても過去に実施していましたが、騒音等の苦情が寄せられたことから、現在は行っていない状況です。</p> <p>なお、ごみ収集員については、市民の皆様の見守り等にも努めながら作業に従事しているところですので、御提案いただいた内容は今後の市民の皆様を守る取組の参考とさせていただきます。</p>
担当課	環境事業課、救急救命課

標題	24 時間看護師常駐の高齢者施設を作ってほしいについて
提案の趣旨	<p>厚木市に 24 時間看護師常駐の高齢者施設がなく、家族の入院先からの移動先を見つけるため、伊勢原市、海老名市、平塚市、秦野市、綾瀬市の 24 時間看護師常駐の高齢者施設で家族面談を行い、面会に行くための立地条件や環境、料金面など多面的に熟慮し、入居施設を決めました。</p> <p>厚木市にはたくさん的高齢者施設がありますが、父にとって選択肢がないという現実に失望しました。超高齢社会の今、厚木市に 24 時間看護師常駐の高齢者施設は必要だと考えます。入居した家族は生まれも育ちも厚木市で、市長と同じ厚木愛炸裂の気持ちでありますので、最後まで厚木市で過ごしたいという思いが本人と家族の希望であり願いです。</p>
回答	<p>介護保険法に規定される高齢者施設については、県や近隣市町村と調整し、市が作成する「高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づいて地域に偏りがないよう整備を推進しています。</p> <p>施設の建設や基準以上の人員配置などの事業運営については、社会福祉法人や民間の会社などが行っているため、御提案いただいた 24 時間看護師常駐の施設について、市のみで整備することは困難な状況ですが、今後、介護サービスを利用する高齢者等の増加に伴い、医療的ケアも必要とする方が増えていくことは認識しています。</p> <p>市としても、御提案いただいた施設の実現に向けて、県や事業者等に機会を捉えてお伝えし、様々な課題を抱える高齢者御本人や御家族の方が多様な住まいを選択でき、「あつぎ愛」の気持ちを持って、安心して生活できる施設整備に一層努めていきます。</p>
担当課	介護福祉課

標題	带状疱疹ワクチンについて
提案の趣旨	<p>昨年、带状疱疹になりました。友人が予防接種を受け始め、海老名市は高額な接種費の半額を市が負担すると言っていました。私も患ってから一年後に予防接種を受けるよう言われましたが、高額なので考えています。インフルエンザも海老名市は 65 才以上が無料だそうです。</p> <p>厚木市も年金暮らしの高齢者に優しい都市になってほしいです。</p>
回答	<p>带状疱疹ワクチンについては、予防接種法に基づき公費負担される定期予防接種ではありませんが、費用助成に対するニーズが高いことは認識しています。</p> <p>市としては、市民の皆様の経済的負担の軽減を図るため、令和 6 年度予算において、費用助成に向けた予算措置を進めており、現在、厚木市議会で審議されているところです。</p> <p>費用助成の準備が整い次第、広報あつぎや市ホームページ、医療機関へのポスターやチラシの掲出等で御案内させていただきます。</p>

	<p>また、高齢者のインフルエンザ予防接種については、65歳以上の方や、60歳以上で心臓や腎臓若しくは吸器の機能の障害などを有する方が罹患した際に重篤化を防ぐため、1,500円の自己負担で接種いただける助成を行っています。</p> <p>今後についても、いただいた御意見も踏まえ、高齢者のインフルエンザ予防接種助成の在り方について研究するとともに、市民の皆様が安心して予防接種を受けられる体制の構築に向けて尽力していきます。</p>
担当課	健康づくり課

標題	児童クラブの待機について
提案の趣旨	<p>児童クラブ定員上限で入所できないと保留(待機)になり、また翌月審査になります。4月の入所に関しては低学年から優先でも仕方ないですが、そこで入れなくて保留になった場合は翌月からは待機順に入れることを検討してほしいです。待機で待っているのに途中から申請した人が入れて、高学年や仕事時間が短いなどの場合は待っても待っても入れなくて困ります。仕事をする上で預け先がなければ働けないし、子どもだけで留守番させるのも事件が多くてできるだけ避けたいです。</p> <p>子育てしやすい市と言ってもらえてる厚木市ですが、小学生の放課後の居場所を早急に検討してほしいです。その点に関してどう考えているのか知りたいです。</p>
回答	<p>児童クラブ入所に関する申請の取扱いについては、市では様々な子育て家庭の事情を考慮するため、随時受付を実施し、毎月審査する形としています。</p> <p>入所に当たっては、先着順とはせず、保留を含む全ての申請児童を対象に、子どもたち一人一人の保育の必要性の度合いを客観的に判定し、保育を受けられない時間が長い子どもや、一人で留守番が難しい低学年の子どもなどを優先しています。こうしたことから、現状では御希望に添うことができない場合が生じていますが、いただいた御意見については、多くの希望する子どもたちを受け入れられるように子どもの居場所づくりを検討する上で参考とさせていただきます。</p> <p>今後についても、多様化する保育ニーズに対応するとともに、より一層、安心して保育サービスを受けられる環境の整備に努めていきます。</p>
担当課	こども育成課

標題	就学児童のランドセルについて
提案の趣旨	<p>ランドセルについて、近年では材質や機能などの違いにより、2万円程度から10数万円の高額なものまであります。家庭の事情により最安価なランドセルしか持たない児童と、最高価なランドセルを持てる児童との格差が生じ、格差が差別を生み差別がいじめを招く恐れがあります。学校でのいじめから家庭崩壊につながる可能性もあります。少子化対策、児童の格差、差別解消の一環としても就学児童へのランドセル無償支給を提案します。</p>



回答	<p>ランドセルの無償支給については、他の自治体で取組事例があることは承知していますが、市立小学校においては、家庭ごとの経済状況や個別のニーズは多岐にわたるため、自分が使うものは自分で選びたいという各家庭の御意向を尊重する等の理由により、各家庭で通学用のかばんとしてランドセル等を御準備いただいています。</p> <p>なお、教育委員会においては、経済的な理由により就学が困難な児童の保護者様に就学援助制度で入学準備金を支給し、入学時に必要な持ち物を購入いただいています。</p> <p>今後については、社会経済情勢などを踏まえ、ランドセル等への助成の在り方などを研究していきます。また、提案内容にありますように、個人の持ち物を理由としたいじめを含め、全てのいじめはあってはならないと認識していますので、多様性を尊重しながら、安心して学校生活を送ることができる環境整備に努めていきます。</p>
担当課	学務課

標題	保育所の副食費について
提案の趣旨	<p>保育所に支払う副食費を口座引き落とし等の方法へ変更してほしい。</p> <p>理由としては、現金のやり取りで生じるトラブルの回避、現金準備の労力回避、保育所職員の負担軽減のためです。</p>
回答	<p>公立保育所副食費については、現在、保育所ごとに現金での徴収を行っており、現金取扱いのリスク等があることは認識しています。</p> <p>現在、事務の効率化や保護者の皆様の利便性を向上させるため、電子マネー決済等のキャッシュレス化の検討を行っており、方向性が決まり次第、御案内させていただきます。</p> <p>今後についても、事務の見直し等を通じて、保護者の皆様や保育所職員の負担軽減を図り、子どもと向き合う時間を十分にとれるよう努めていきます。</p>
担当課	保育課

標題	加配を必要とする子どもの保育所等の利用調整基準に対する提案について
提案の趣旨	<p>加配を必要とする子どもの保育所入所の利用調整に対する提案です。</p> <p>知人のダウン症の子どもが認可保育園へ入所希望を出したところ、選考指数では入所可能であったにもかかわらず、園側が職員の加配ができないため入所を断られてしまい、次点の子が入所することになりました。</p> <p>事前に見学をして、ダウン症であることを説明していたということです。その結果、知人は育休を延長せざるを得ず、次回の選考時にも園がどう判断するかも分からないため、復職が遅れてしまっています。他の園でも状況は同じで「状況によっ</p>

	<p>では入所できないかも」と言う園もあるということです。つまりそれは、障がい等のある子どもを授かると復職が遅れたり、辞職、転職をせざるを得ないことで、経済的にも難しい選択を迫られることになるのだと理解しました。</p> <p>保育士や職員不足という問題が影響していると思いますが、仕組み上の課題も大きいと考えています。課題は、一つ目として、特別な配慮が必要な子どもに対して、加配を必要とする判断基準が十分でない。二つ目として、加配を必要とする子どもの選考方法が明確でなく、選考上不利となっている。三つ目として、選考指数の考え方は障害等のある子どもも公平であるとしているが、二つ目を考慮すると公平になっていない。四つ目として、加配を必要とする子どもを受け入れる保育所への補助金が十分でないことです。</p> <p>保育士不足という問題はあるにせよ、仕組みの改善によって加配を必要とする子どもの保育園入所の状況は改善できると思いますので、今回の提案の内容の採用有無に関わらず、様々なご検討をよろしくお願いします。</p>
回答	<p>加配保育士の設置については、国が定めた一律の基準はなく、自治体ごとに対応しているところです。本市でも現在は保育士を加配する基準はなく、御指摘のとおり、特別な配慮が必要と判断されたお子様の入園に当たっては、施設の職員配置状況によって保留になる事例が生じていることは認識していますので、基準を定めること等について研究していきます。</p> <p>また、「加配を必要とする子供が選考上不利になっているのではないか、選考指数の考え方が公平になっていないのではないか。」とのお尋ねですが、選考方法等については、御提案いただいたフローチャートの作成などを始め、より分かりやすくなる方策について研究し、他市の事例も参考にしながら、改善に努めていきます。</p> <p>なお、本市では保育士不足による保留をなくすため、確保対策として、市内の認可保育所や小規模保育施設に就労している保育士等に「厚木市保育士等就労応援給付金」を支給する等、保育士等が働きやすい環境や子どもを安心して預けられる環境に向けて取り組んでいるところです。</p> <p>今後についても、保育士の確保を最優先事項の一つとして取り組むとともに、加配保育に関する補助金に関しては、園からも改善の要望を頂いていますので、より良い制度となるよう検討していきます。</p>
担当課	保育課

標題	丸い社会について
提案の趣旨	<p>高齢化が進み、農地が空いているところが沢山あるとお聞きしています。私自身、その空いている畑を借りています。</p> <p>テレビゲーム、携帯が出てきてから外で遊ぶことが少なくなり、自然の中でどのように遊んだら良いのか分からない人が多くなりました。アクロバットな遊びを0～2歳でしていないので、体幹がなく顔面の怪我が多くなっています。</p> <p>また、筋力=IQと論文でも出ていて、実際子どもたちを見ていると実感するので、</p>

	<p>学力低下にも繋がっていると思います。</p> <p>自然から離れた世界が多くなると共に、命の希薄化でいじめのエスカレートや自殺が多くなってきたと思います。</p> <p>これらを全て解決できるのが畑、田んぼ仕事だと思っています。土に触れることは情緒の安定、ストレス発散に繋がり、土を耕すことで体幹や筋力が鍛えられ、自然の中で成長を見守り、機械のように成長するのではなく、色んな成長があることを学び、自然との関わりや自分育てたものを食べることで命の大切さを学び、野菜の高騰も気にせず給食の野菜が収穫できるかもしれません。</p> <p>農業のやり方は元々されていた方に学ぶことで農地の活性化に繋がるし、人手が増えることでできることが増えます。保育園、幼稚園、義務教育、できたら高校、大学も交えてやることで、お互いの負担が減ると思います。</p> <p>農地の問題をどのように解決するのか、この方法を取り入れて下さるのであれば農地をどのように活用するのかなど、部署をまたいで話し合いをしてほしいです。</p>
回答	<p>子どもたちを取り巻く環境については、少子化や共働き世帯の増加等により大きく変わり、実体験の不足が指摘されているところですが、御提案にもありますように、子どもたちの心身の成長には様々な体験の積み重ねが必要であると認識しています。</p> <p>国においては、令和5年4月に、こども家庭庁を創設し、全ての子ども・若者が幸福な生活を送ることができる「こどもまんなか社会」の実現に向けて取組を始めており、本市におきましても同様に、地域社会全体で子どもと子育て世帯を支える体制づくりに取り組んでいるところです。</p> <p>豊かな自然環境に恵まれた本市においては、地域の方々の御協力のもと、市内の保育所・幼稚園では田畑で作物を育て収穫を体験するなど、人格形成の基礎を築いていく幼児期において、土に親しむ活動を取り入れている施設もあります。また、各小・中学校においては、野菜等の栽培や収穫を始め、学校外での自然体験活動など、児童・生徒の実態や発達段階に応じた取組を通じて、子どもたちの健やかな体の育成と豊かな心の涵養を図っています。各地区の公民館においても、学級・講座や公民館活動などの各種事業を通じて、地域ぐるみで市民の皆様が自然や農業に触れ合う機会を提供しているところです。</p> <p>また、厚木市農業協同組合を始めとする農業関係団体等と連携し、未就学児や小・中学校の児童・生徒への食と農に対する理解の促進に取り組むとともに、市民の皆様が土や自然に触れ農業に対する理解を深めていただくため、市民農園を9か所開設し、多くの皆様に御利用いただいています。</p> <p>今後についても、子どもたちの健全な発達の促進に取り組むことに加え、地域づくりや農地の活用の観点も踏まえながら、分野横断的に全庁を挙げて「子育て・教育で選ばれるまち」を目指し、子育て世帯のニーズを捉えた子育て支援の拡充に努めていきます。</p>
	こども育成課、農業政策課、教育指導課、社会教育課

<p>標題</p>	<p>子育てから教育にも強い街へについて</p>
<p>提案の趣旨</p>	<p>都内から移住し、現在1歳半の子どもを育てています。厚木市の子育て支援は、都内と比べても手厚く、また人が優しく地元のお店もあるなど住む場所として、とても気に入っています。</p> <p>一方で、今後の教育を考えたときに、都内の方が良かったかと、都内に戻ること、または横浜などへのアクセスが良い海老名などの選択肢が再浮上しています。周りの友人の話などを聞いても、長く住むことを考えたときに質の良い教育にアクセスがしやすいかということが重要になっており、移住する友達の中でもなかなか厚木市が候補に入りません。</p> <p>軽井沢などの例にありますが、新しい教育を取り入れた学校などを誘致し、教育移住層に越してきてもらうことを検討いただけないでしょうか。自然が豊かであり、そういった学校に興味のある人たちが多そうな企業（ソニー、日産など）も周辺にある厚木市にはポテンシャルしかない、と感じています。ご検討ください。</p>
<p>回答</p>	<p>現在、市においては、児童・生徒数の将来推計を踏まえ、子どもたちが将来にわたってより良い教育環境で学ぶことができるよう統廃合を含めた市立小・中学校の適正規模・適正配置に取り組んでいるところです。</p> <p>新たな学校の設置や誘致については検討していませんが、「子育て・教育で選ばれるまち」の実現に向け、令和6年4月から小・中学校給食費の無償化をスタートするとともに、今後3年間で全小・中学校の体育館への冷暖房設備を整備していきます。また、若年世帯の転入促進及び定住を図るため、子育て中の若年世帯が市内で新たに住宅を取得する場合に、住宅取得費用の一部を補助しています。</p> <p>さらに、インクルーシブ教育の充実や、不登校児童・生徒の校内の居場所として「校内教育支援センター フリールーム」の設置を進めるほか、令和6年度からは、子どもたちの健全な発達を促進するためアプリを活用した「睡眠教育」をモデル校で新たに導入し、子どもの基本的な生活習慣の育成や学校生活の充実に取り組んでいきます。</p> <p>質の良い教育へのアクセスについては、市は豊かな自然に恵まれ、様々な企業や大学などもあり、そのような豊かな教育資源を活用しながら、「未来を担う人づくり」を基本理念に掲げ、様々な教育活動を展開しています。</p> <p>各学校を中心に展開している教育活動の事例としては、最先端の科学技術を有する半導体関連企業や理工系の大学と連携した理科・実験教室をはじめ、電気・ガス関連企業によるカーボンニュートラルに関する授業や自動車関連企業による環境・エコに関する授業などがあります。今後についても、世界に名だたる企業と密に連携を図りながら、様々な取組を進めていきます。</p> <p>また、市内各地域の多くの事業所に御協力いただいて実施している小学生の社会科見学や中学生の職場体験学習などの取組のほか、地域の皆様とのふれあいを大事にした取組など、厚木らしい温かい教育活動も、各学校において工夫しながら進めています。</p> <p>その他、市教育委員会では、市立小・中学校の児童・生徒がニュージーランドの</p>

	<p>小・中学生等とオンラインで交流する授業や中学生のニュージーランドへの短期留学、中央図書館の電子図書を1人1台のタブレット端末で利用できる仕組みの導入、各校に学習支援員等を派遣し学習環境の充実を図る取組などを実施しています。</p> <p>市ならではの教育資源を活用した魅力ある教育活動については、市の広報紙やホームページ、各学校のホームページ等を通して情報を発信するようにしていますので、御覧いただけると幸いです。</p> <p>今後についても、未来を担う子どもたちが、予測困難といわれる社会の中でもたくましく生き、豊かな人生や社会を築くことができる資質・能力を身に付けられるよう、常に今日的な社会課題を踏まえ、地域や家庭と協働しながら教育活動を進めていきます。</p>
担当課	住宅課、教育総務課、教育指導課

### ●教育・文化・環境

標題	過大規模校への対応について
提案の趣旨	<p>長年、厚木小学校、厚木第二小学校、南毛利小学校は過大規模校、もしくはそれに準ずる状態です。また、新しく住宅やマンションの建設も進んでおり、さらに増員が予想されます。</p> <p>既に児童数が多すぎるデメリットもたくさん出ています。3校の間にもう1校つくるか、南毛利で言えば愛甲、毛利台、緑ヶ丘に通える児童は移動させるなど早急な対策が求められます。</p> <p>何年も前から過大規模校の改善を求めています、どうなっていますか。</p>
回答	<p>市では、「厚木市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」において、小学校の適正規模の範囲を12～24学級としています。御提案いただいた3校の学級数は、令和5年4月時点で、厚木小学校が27学級、厚木第二小学校が25学級、南毛利小学校が30学級となっており、現状では適正規模の範囲を上回っています。</p> <p>そうした中で、厚木第二小学校や南毛利小学校では通学区域の一部区域において学校選択制度による近隣小学校への通学を認め、学校規模の適正化を図っているところですが。</p> <p>なお、大規模開発等による影響を踏まえた児童数の推計においても、今後は上記の3校とも児童数が減少し、将来的には適正規模の範囲内の学級数となると見込んでおり、現時点では、学校の新設などの通学区域の再編成について検討する予定はありません。</p> <p>今後についても、子どもたちがより良い環境で学校生活を送ることができるよう努めていきます。</p>
担当課	教育総務課

<p>標題</p>	<p>小型水力発電の開発について</p>
<p>提案の趣旨</p>	<p>日本では、自然エネルギーと言うと、はんを押したように太陽光発電、風力発電と言われますが、これらは広大な土地や平野を有するヨーロッパ等の大陸で開発された物で、日本のように国土も平野も狭い国には不向きなエネルギーだと考えています。日本には日本に合ったエネルギー開発が必要だと思います。</p> <p>例えば、水力発電や地熱発電です。特に、厚木市には一級河川が複数あります。私は、厚木にあるような規模の河川でも敷設できる小規模水力発電を民間のメーカーと共同で開発し、いたるところにこれを設置できるようにすればこの土地に相応しい電力が出来上がるのではないのでしょうか。大陸型の発電を主に考えると思考停止に陥る危険性があります。</p> <p>厚木発の新エネルギーが日本の主エネルギーになることを夢見たいものです。</p> <p>わたしの提案は、厚木市にある複数の一級河川に設置できる程度の小規模で安価な水力発電を民間のメーカーと共同で開発し、いたるところにこれを設置して市の電力の多くを賄うというものです。</p> <p>実現には、主に次の二点をクリアーする必要があると思います。1. メーカーの選択と説得、2. 自然エネルギーに対する国の規制撤廃です。1 と 2 はリンクした問題です。おそらくメーカーは、多額の開発費用をかけても市場規模が小さくては真剣に話を聞いてくれないでしょう。そこで、国が消極的な再生エネルギーの使用規制を撤廃、或いは緩和するべく国に働き掛けなければいけません。</p> <p>太陽光発電は、各個人宅の屋根に付ければ良いという発想がありますが、私は個人的には賛成できません。なぜなら、屋根を含め住宅はデザイン性が非常に高く、住む人の好みやこだわりが大きく関わるものだから、その屋根に一律太陽光発電を奨励することは好ましくないと考えるからです。</p> <p>風力発電は、建設するには厚木市の場合、山の稜線付近に樹木を伐採し建てることになるでしょう。自然破壊となり、本末転倒です。費用も掛かるでしょう。</p> <p>こうしたことから、厚木に合ったエネルギーを開発することが重要になります。</p> <p>工事費用、自然破壊、個人の権利尊重など幅広くこのエネルギー問題を捉えれば、小型水力発電など新エネルギーは十分開発に値するものと考えます。</p>
<p>回答</p>	<p>市においては、脱炭素社会を見据えた取組を通じ、2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指す「厚木市ゼロカーボンシティ」の表明をし、再生可能エネルギーの普及促進を始め、省エネルギーの促進や地球温暖化防止の意識向上などに取り組んでいます。</p> <p>市の再生可能エネルギーについては、環境に対する影響が比較的少なく、技術の進化により発電効率が向上しコストが低下しているほか、現段階において安定して供給される太陽光発電について、建物の屋根屋上への設置を推進しています。</p> <p>また、市でのカーボンニュートラル達成に当たりましては、400MWの再生可能エネルギーの導入が必要と推計しており、地理的条件等を踏まえ、市における再生可能エネルギーのポテンシャル調査を実施した結果、中小水力発電のポテンシャルは0.221MW、風力発電は14.8MW、地熱発電は0MW、太陽光発電は約630MWの設置が可能</p>

	<p>で、理論上では建物の屋根屋上の太陽光発電だけで達成することが可能となっています。</p> <p>御提案いただいた河川を活用した水力発電につきましては、市としても注目していますが、河川に発電装置を設置する場合には、災害などの増水時における安全性の確保、漁業権等水利権者の理解、水生生物等への影響、河川の景観など多くの関係者との調整の上、理解を得て実施する等の課題があり、主力の再生可能エネルギーとしては推進することが難しいものと認識しています。</p> <p>しかしながら、河川を活用した水力発電は、上流で実施している事例などもありますので、引き続き、先進事例等の情報収集を進めていきます。</p> <p>今後についても、より多くの市民の皆様や企業等の御理解と御協力をいただきながら、地域のエネルギー政策の最適化に向けて取り組んでいきます。</p>
担当課	環境政策課

標題	農地開発を止めたいについて
提案の趣旨	<p>義実家は農業を営んでおり、夫もその姿を見て育ち、農業を継ぐ準備をしています。私は住んで間もないですが、田畑の近い生活が好きです。夫が育った土地としても好きですし、自分の子や近所の子どもが伸び伸びと遊べる環境も好きです。</p> <p>ですが、こここのところ、農地が物流倉庫に変わるという話をいくつも聞きます。住んでいる土地ですが、人伝てにしか話は聞こえてきません。実際、開発が進むと風景はガラッと変わりますし、車の往来が増えることも、小さな子を持つ親として気になります。</p> <p>土地の持ち主と企業の間で決まってしまったなら仕方がないのかもしれないと思うのですが、何かできることはないのでしょうか。</p>
回答	<p>市においては、私の公約である「まずはやりたい8つの政策」の一つとして掲げた「あつぎの農業」の振興を推進するため、地産地消の推進や食農教育の強化、鳥獣被害から農業者を守るための取組等を進めているところです。</p> <p>相川地区においては、営農意欲が高く農業が盛んであり、まとまった優良農地が広がっていること等から、市としても、農業の振興を図ることが望ましい地区であると認識しています。一方、新東名高速道路やインターチェンジの開設等による交通利便性の向上に伴い、物流施設としての土地利用が進んでいる状況もあります。</p> <p>農地への物流倉庫の立地については、都市計画法のほか、農地法や農業振興地域の整備に関する法律など、様々な法令による規制がありますが、各法令の基準に合致したものについては、それぞれの規制の解除や開発の許可をしていくこととなります。</p> <p>開発事業者に対しては、近隣の方々への影響の低減を図るため、説明会の開催や個別説明を義務付けるとともに、安全対策として、車両出入口における出庫警報機の設置や歩道の確保、事業用車両は生活道路を通行させない等の指導を行っています。</p>

	今後についても、頂いた御意見を始め、農業者や農業関係団体の皆様の御意見を踏まえながら、「持続可能なあつぎの農業」に取り組んでいきます。
担当課	農業政策課、開発審査課、まちづくり指導課

●商工業・観光

標題	厚木市の経済活性化案について
提案の趣旨	<p>私は、市の郊外に在住しています。道路は当然舗装されていますが、凸凹の舗装状態で、市街地であっても車の走行がスムーズでないところがあります。また、夏の時期には、歩道等は草だらけです。</p> <p>市の経済活性化等には、多くの企業や人の転入が不可欠だと思います。乳児へのおむつの無料配布も策ですが、市の環境整備が必要と考え、市街地半径3キロ圏の道路を整備し、歩道等に隣接している企業や集合住宅のほか戸建てに協力していただいて草を除去するなど、市街地の環境を美化することで企業や人が集まり、厚木市経済発展につながると思います。</p>
回答	<p>市においては、「あつぎの道づくり計画」の中で、スムーズな移動環境づくりや安心・安全な道路空間の形成のほか、多様な道路機能の維持と活用を基本方針に位置付けるなど計画的に道路環境の整備を進めているところです。</p> <p>また、美しい環境のまちづくりを実現するため、「厚木市みんなで守る美しい環境のまちづくり条例」を制定し、市をはじめ市民の皆様や事業者それぞれが守るべき事項を定め、環境美化を推進しています。民間事業者と協働した道路等の美化活動の一つの事例としては、中心市街地において毎週金曜日に商店会や企業の皆様とともに「にぎわい美化清掃」を行っています。</p> <p>今後も、道路施設等の適切な維持管理に取り組むとともに、市民の皆様や事業者の御理解と御協力をいただきながら、美化意識の啓発と自発的清掃活動の促進を図り、環境美化と経済発展の好循環が創出されるよう努めていきます。</p>
担当課	生活環境課、商業にぎわい課、道路管理課、道路維持課



標題	半導体工場を誘致してほしいについて
提案の趣旨	<p>政府が半導体や電池の工場建設に土地利用の規制緩和を検討中とのことで、森林や農地などの開発に制限がある「市街化調整区域」において、自治体が工場の立地計画を許可できる方針のようです。</p> <p>市内には「日産テクニカルセンター」が立地しています。半導体は自動車産業には欠かせない部品です。市のイメージ向上のため、隣接する「市街調整区域」岡津古久に半導体工場の誘致を検討していただきたいです。</p> <p>予想される効果としては、企業誘致により税収が増え、市の先進的イメージの向上につながります。</p>
回答	<p>市では、半導体を始めとした情報関連産業について、「厚木市企業等の立地促進等に関する条例」における戦略産業（地域経済への波及効果が大きく、市民の雇用機会の拡大や産業の活性化に向けて重点的に誘致を図る産業分野）に位置付けています。新たな立地に係る最大1億円の奨励金や最大5年間の課税免除など様々な支援制度を設け、企業の誘致を促進しているところです。</p> <p>御提案にある国の規制緩和については、「地域未来投資促進法」の特例措置の中に、経済安全保障上の重要物資である半導体などの工場を位置付け、市街化調整区域への工場立地を可能とするほか、税制などを含む規制改革により企業の投資を促進することが検討されています。</p> <p>今後においても、国の規制緩和等の動向を注視するとともに、東名・新東名高速道路を始めとした高規格幹線道路網や充実した子育て・教育環境といった本市の魅力を広く発信し、進出意向のある半導体を始め様々な企業に対して積極的な誘致活動を展開していきます。</p>
担当課	産業振興課

標題	厚木市の活性化について
提案の趣旨	<p>近年の本厚木の衰退を残念に思っています。海老名市の勢いを横目に見て、本厚木もどうにかならないものかと、子どもともよく話します。</p> <p>アミューも本当に残念な状況で、映画館もTOHOやイオンシネマのように通常の映画を放映したり、海老名市にはない集客できるものとして、ラウンドワンスポッチャも提案いたします。ポイントは、駅から歩ける、駅前ということだと思います。他にも市民の意見を集めるなどしてほしいです。</p>
回答	<p>市においては、令和3年から4年にかけて、本厚木駅周辺で事業を営む方や市内の大学に通う学生など多様な市民の皆様との議論を積み重ね、令和4年9月に「本厚木駅周辺歩いて楽しいまちづくり推進計画～vision2040～」を策定しました。現在は、本計画に基づき、本厚木駅周辺に図書館、(仮称)未来館、市庁舎等からなる複合施設の整備や本厚木駅北口駅前での市街地再開発事業、本庁舎跡地の有効活用について検討を進めています。</p>

	<p>また、アミューあつぎに併設されている「あつぎのえいがかん kiki」については、古き良き名作やお客様からのリクエストに応じた作品を上映するなど、地域に根付いた映画館を目指しています。</p> <p>今後については、頂いた御意見も参考にしながら、本厚木駅北口周辺を市民の皆様への期待に応えられるデザイン性・機能性に優れたまちに整備し、全国、全世界から憧れを抱かれる市街地を目指していきます。</p>
担当課	商業にぎわい課、市街地整備課

標題	秋冬期間でのコスプレイベントの提案について
提案の趣旨	<p>厚木市は夏にはあつぎ鮎まつりという大きなイベントで県内外から人が来場し、経済効果も大きなものと感じています。</p> <p>一方で、秋や冬には鮎まつりほどの規模のイベントがなく、活気がないと感じています。そこで、秋もしくは冬にコスプレイベントを開催することを提案します。</p> <p>北海道新聞の記事によると、苫小牧市で開催したコスプレイベントの経済効果は約2800万だったそうです。</p> <p>中央公園をメイン会場、アミューあつぎの会議室を更衣室・荷物置き場会場とし、地元のお店にも協力を仰いで、コスプレ姿のまま入店可能にすれば、大きな経済効果が生まれるのではないかと考えています。御一考のほど、よろしくお願ひします。</p>
回答	<p>市では、中心市街地で夏の終わりに「あつぎジャズナイト」、秋には「にぎわい爆発あつぎ国際大道芸」、そして、冬には例年よりもバージョンアップさせたイルミネーションを中心としたイベント「あつぎウィンターフェスティバル」を予定しています。</p> <p>御紹介いただいた苫小牧市の「とまこまいコスプレフェスタ」は、大変な盛り上がりで認識していますので、御意見は参考にさせていただき、参加者自身がお楽しみいただけるイベントについて研究していきます。</p> <p>今後についても、人が集い、交流し、新たな価値を生むまちを目指すとともに、国内外から訪れてもらえる市街地の実現に向けて取り組んでいきます。</p>
担当課	商業にぎわい課

標題	あつぎ鮎まつりの開催時期について
提案の趣旨	<p>今年のアツギ鮎まつりはコロナ禍以前の規模に戻って盛大に行われ、とても良かったと思います。</p> <p>ただし、世界的な温暖化を通り越した酷暑化の中で、従来どおり真夏に行事を行うのはもう無理ではないかと感じました。炎天下の屋外行事が中心となるため、出演者、運営スタッフ、観客それぞれが大変な思いをしなければなりません。もはや限界です。</p>

	<p>今後さらに温暖化が進めば、熱中症による死者が出る等最悪の事態も懸念されます。昨年のおつぎ鮎まつりは実施時期が秋に延期され、穏やかな気候の中でゆつたりと鑑賞することができました。来年以降の開催時期について、盛夏を避けて穏やかな時期に変更することを御検討ください。</p>
回答	<p>77回目を迎えた今年のおつぎ鮎まつりは、4年ぶりにコロナ禍前の規模での開催となり、2日間で28万人の皆様にご来場いただき、大きな事故もなく無事に終了することができましたことをお礼申し上げます。</p> <p>近年、夏季の屋外行事は、御指摘のとおり、熱中症等の健康リスクが高まっているものと認識しています。</p> <p>御提案をいただいた、おつぎ鮎まつりの開催時期については、今年の課題を洗い出し、安心・安全な開催ができるよう検証していきます。</p> <p>今後についても、より進化した内容とすることで、さらに誇りを持っていただける祭りとなるよう取り組んでいきます。</p>
担当課	観光振興課

標題	厚木アクスト最上階の一般解放について
提案の趣旨	<p>厚木市の観光は、現在山間部や農業地域に偏って、県内有数の厚木インターチェンジ周辺の道路網が観光に生かされていません。</p> <p>課題解決の一つとして、厚木アクスト最上階を一般観光客に解放し、ここから見えるであろう絶景を新たな観光資源としたいです。私は最上階からの景色を実際に見たことがないですが、想像するに、西に大山、後ろに富士山。南に湘南の海岸線。東には横浜周辺。そして眼下には、厚木インターと東名高速道路の幾何学模様。他地域では見ることでできない厚木ならではの絶景が楽しめるのではないのでしょうか。</p> <p>予想される効果としては、新たな観光資源の創出によるインター周辺地域及び市全体の活性化などが期待されると思います。</p>
回答	<p>厚木アクストメインタワーについては、地上26階建ての市内で最も高い民間の建物で、最上階からはすばらしい眺望が望めるものと認識しています。</p> <p>この度御提案をいただき、管理会社に問い合わせたところ、観光客を受け入れるための設備がなく、新たに展望機能の設備投資をすることは困難との回答でした。</p> <p>御提案にもありましたとおり、市の道路網は県内有数であり、インターチェンジについては、計画中の2つを含めると、将来的には7つを有しますので、道路網をいかした観光は非常に有用であると認識しています。</p> <p>今後についても、地域の魅力やブランド力を高めていくため、都市機能を整備するとともに、地域資源を磨き上げ、積極的な観光振興を展開していきます。</p>
担当課	観光振興課

●行政一般・その他

<p>標題</p>	<p>市の広報のあり方について</p>
<p>提案の趣旨</p>	<p>広報紙、公民館だよりの月2回の自治会内配布は、高齢者の組長の方にはかなり負担が大きいです。また、広報紙印刷枚数の見積りが甘く、需要と供給のアンバランスのために多大な枚数がゴミ化しています。</p> <p>広報紙については、月1回の発行により自治会への負担を軽減し、配布している枚数の実績を基に見積の見直しを図り、印刷費用の軽減及びゴミの減量化を提案します。紙面に頼ることなく、もっとデジタル化や映像化でPRを推進してもらいたいです。また、紙面での対応は各戸へ配るのではなく、コンビニ店舗や自治会館、老人ホームに広報紙コーナーを設置してもらい、紙面を必要とする人用とします。</p> <p>映像によるPRでは、今月のトピックスを取上げ、駅前や街頭にモニタービジョンを設置し、視覚によるPRを進めてほしい。</p>
<p>回答</p>	<p>広報紙の発行については、情報の量や即時性を考慮し、毎月2回発行しており、自治会での戸別配布を始め、公共施設やコンビニ、一部の高齢者福祉施設等で配布しているほか、市ホームページや市公式LINEでのデジタル配信など、より多くの手段で手に入るよう努めているところです。</p> <p>自治会での各戸への配布については、自治会の皆様の御負担になっていることは承知していますので、今後、より良い方策について検討していきます。</p> <p>発行部数については、必要最小限の部数を精査するなど、更なる適正化を図り、経費削減及び環境負荷低減につなげていきます。</p> <p>また、デジタル化や映像化につきましては、本厚木駅及び愛甲石田駅前に設置しているデジタルサイネージや市公式 YouTube 等で情報発信に取り組んでいますので、今後も様々な世代が便利に情報を取得できるよう、効果的な情報発信に努めていきます。</p>
<p>担当課</p>	<p>広報課、社会教育課</p>